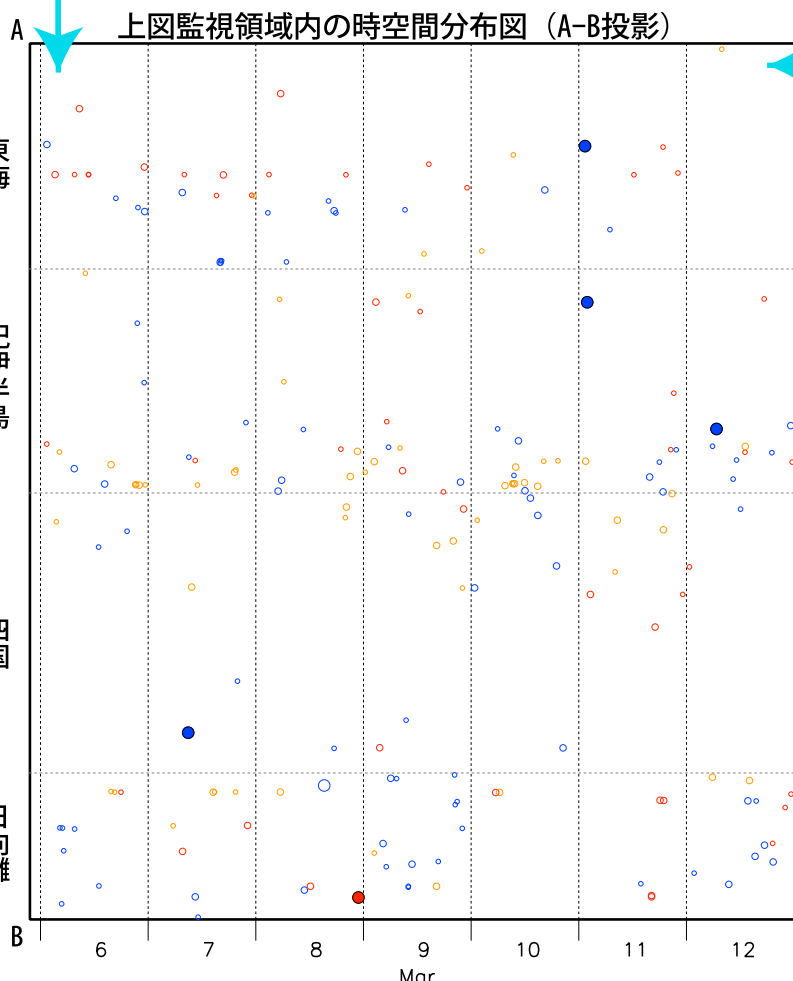
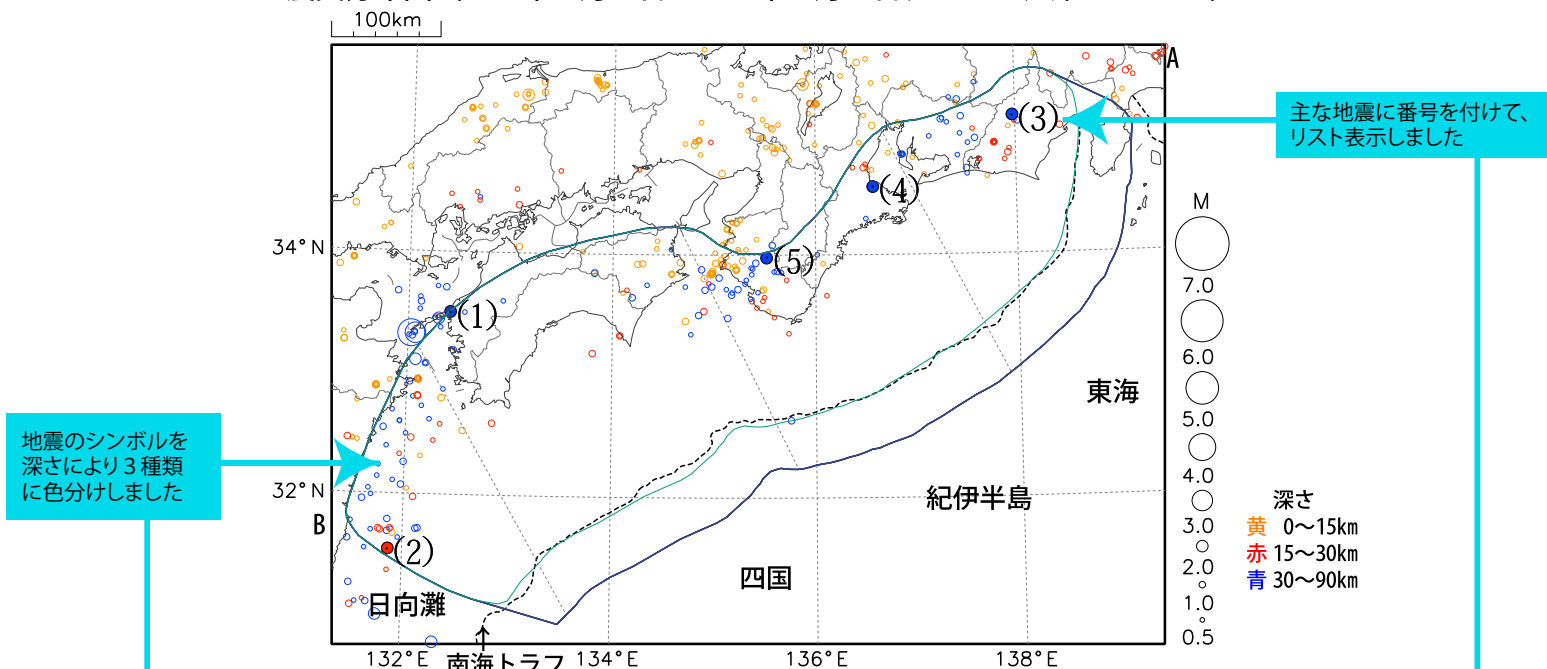


南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 11

通常地震の活動状況

震央分布図（2020年03月06日～2020年03月12日、M $\geq$ 0.5、深さ0～90km）



【主な地震活動】

「監視領域」内で発生したM3.5以上の地震（最大5地震）
※近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載。

番号	発生日時	震央地名 規模
●(1)	03月07日 08時54分	愛媛県南予 M2.9
●(2)	03月08日 22時54分	日向灘 M2.0
●(3)	03月11日 01時22分	静岡県西部 M2.3
●(4)	03月11日 01時53分	三重県中部 M2.6
●(5)	03月12日 06時43分	和歌山県北部 M2.2

（注）実際はM3.5以上の地震（最大5地震）が表示されます

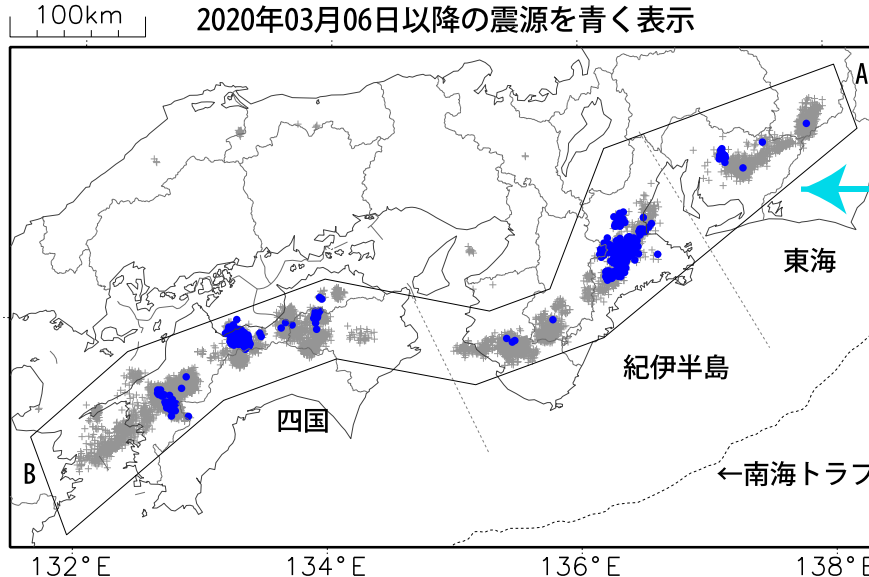
※震度情報については、最大震度1以上を観測した地震の検索ページを気象庁ホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。
震度データベース検索
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

深部低周波地震(微動)の活動状況

深部低周波地震(微動)活動が見られる時は、その活動場所とほぼ同じ場所で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界がゆっくりすべっている(短期的ゆっくりすべり)と推定されるため、深部低周波地震(微動)活動はプレート境界の状態変化の監視にとって、重要なデータの1つである。同じ場所での深部低周波地震(微動)活動は、数日～1週間程度継続することがあり、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。「短期的ゆっくりすべり」「深部低周波地震(微動)」についての詳しい解説は、気象庁ホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/nteqword.html>)をご覧ください。

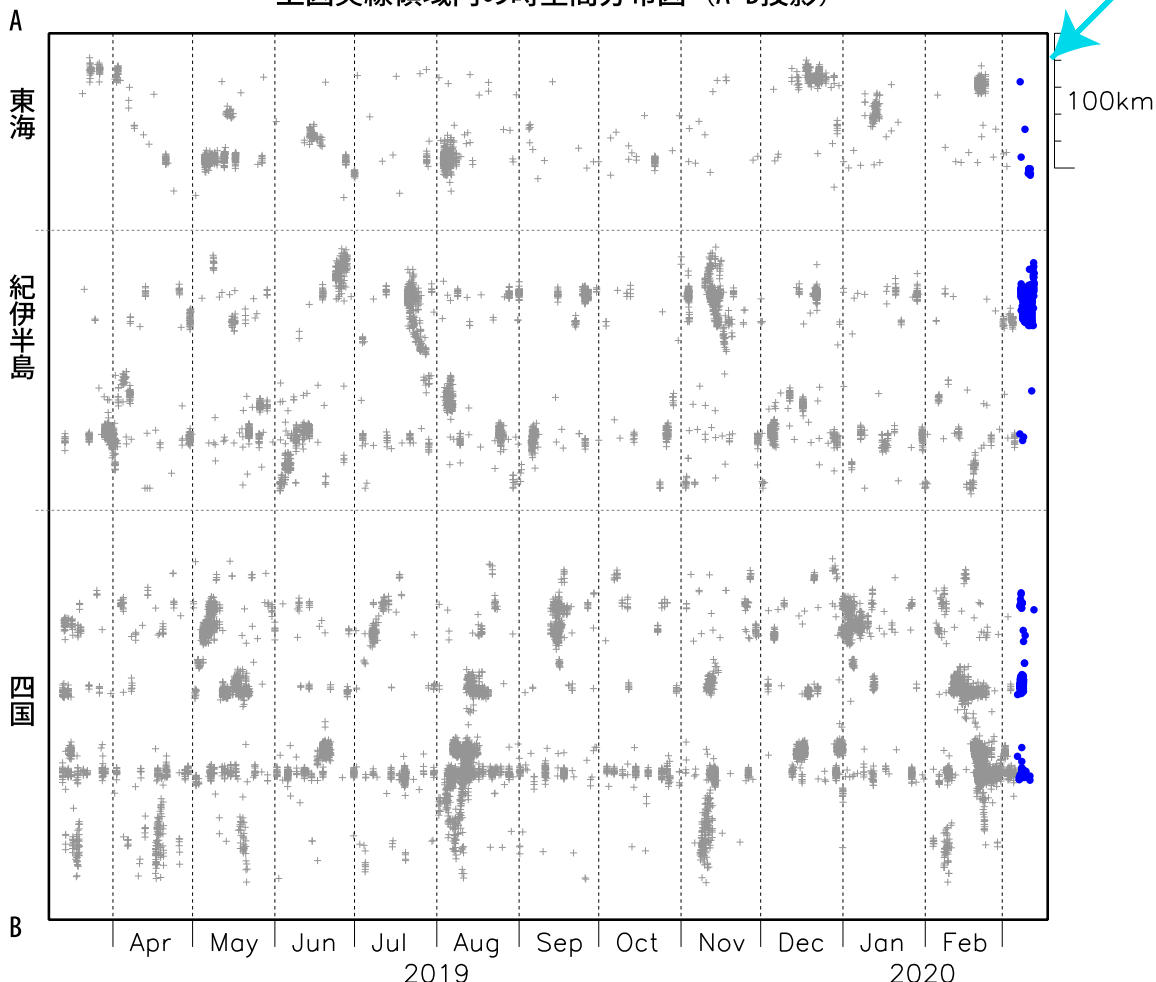
震央分布図(2019年03月13日～2020年03月12日:過去1年間、M全て、深さ全て)



過去の活動と比較することで、同様の場所で繰り返し発生しているか否か等の活動状況が見やすくなりました

震央分布図の黒の実線は、短期的ゆっくりすべりに伴う深部低周波地震(微動)が定常的に観測されている領域を示す。

上図実線領域内の時空間分布図(A-B投影)



深部低周波地震(微動)の発生場所や短期的ゆっくりすべりの発生状況についての詳細な解析結果は、毎月開催している「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会」のページ(<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>)に掲載しておりますので、ご利用ください。